

KIDS SMILE LABO JOURNAL

“キッズ スマイル ラボ ジャーナル”

KIDS SMILE LABO が発行するフリーペーパー。普段 SNS でしか見られない保育園の子どもたちの様子や、子育てに関する情報等、最新情報をお届けします。

Vol.22

2023

TAKE FREE



KIDS SMILE LABO の 1 枚。

副園長の森誉さんが選んだ、とっておきの 1 枚を紹介します！

“新しい季節の訪れ”

大人が思っている以上に様々な感覚を働かせながら
子どもたちは夢中になって遊びます
体に受ける春風を感じて新しい季節の訪れを知ります
新しい季節の訪れは
心の変化も生まれる時です
ほっとしてみたり ゆらいでみたり
大人の言葉で表す「期待」や「不安」といった気持ちと向き合います
環境が変化していくことで生まれる心の動き
どの子もそれぞれに何かを感じながら
新しい季節の訪れを咀嚼していきます
一人で咀嚼できないところは大人がそっと寄り添って
「もう大丈夫だよ」と心の準備ができるのを待ってあげてくださいね

photo & text by morimori

今月のおすすめ note !

もりもりのわくわくラボ日記

「園だよりに残す私の言葉」

もりもりの伝えてくれるメッセージはとても温かいです。

「幼稚園体験で知る親としての気持ち」

4 月からの新生活ももう目の前までできていますね！

園長 松下かおる



副園長 森誉



続きは **note** にて →

今月かおちゃんの note は JOURNAL にて掲載中！

kidssmilelabo.com



@kidssmilelabo

KIDS SMILE LABO

@kidssmilelabo

@KIDS_SMILE_LABO

KIDS SMILE LABO 園長の育ち合い note

表情を知ることは
相手をより知ることに繋がる

子どもからは「かおちゃん」の名で親しまれている、KIDS SMILE LABO の園長。15 年の保育現場経験を経て、保育園 KIDS SMILE LABO を開園。趣味の畑作業を通して、日常的に自然に触れ、「地域」「家族」「自然」「仲間」と繋がることを自身のテーマとして日々追究している。

保育園 KIDS SMILE LABO
園長 松下 かおる

今年度も保護者の皆さまには様々なご理解ご協力をいただき誠にありがとうございました。早いもので 2021 年の開園から 2 年が経ちました。定員に達するクラスも増え、来年度も嬉しいことに KIDS SMILE LABO のなかま達は増える予定となっております。

一方でコロナとの付き合いは 3 年強となりました。当時、横浜港に着いたダイヤモンド・プリンセス号の船内で多数の感染者が出たというニュースが今も鮮明に思い出されます。これからどうになってしまうのか、世界中が不安に包まれた 2020 年。コロナ化になりマスク姿がすっかり日常となりましたが、マスク姿が常となった時から保育業界では子ども達に表情を伝えられないという懸念がずっと伝えられてきました。

大人の私たちもマスクを毎日つけ始めた時には、この光景に違和感を覚えたと思いますが、今ではマスクを外すことに違和感を覚える人が多くなっているようです。3 年前、恐怖に感じたウィルスも日常の一部になっていこうとしている 2023 年。世界各国での対応は様々なようです。(以下産経ニュースより) フランスでは昨年、段階的にマスク着用義務が解除され、8 月には、医療機関での着用も不要になった。ドイツでは秋冬の流行警戒から、長距離の公共交通機関（鉄道やバス）でのマスク着用が義務付けられたが、連邦政府は今年 1 月の閣議で義務解除を決めた。米国では日常生活の正常化が進み、街頭や公共交通機関、劇場や美術館などの屋内施設でもマスクを着けている人は少ない。等々。

KIDS SMILE LABO も開園から新型コロナウイルスの感染状況や政府の対応と共に様々変化をしてきましたが、子ども達の大切な学びの一つでもある『表情を知りより相手を理解しようとする』ことを実践していきたいと考えています。



KIDS
SMILE LABO
KITCHEN

Vol. 12
食を通して成長する姿

KIDS SMILE LABO KITCHEN

保育園KIDS SMILE LABOで毎日子どもたちに提供している給食は厚木で育った旬の野菜、無添加調味料を使用して安心安全に、そして見て美しい食べて美味しい給食を2343FOODLABO監修のもと、調理をしています。



この 1 年を振り返ると、子どもたちの食に向き合う姿勢や行動に多くの変化があったなと感じています。

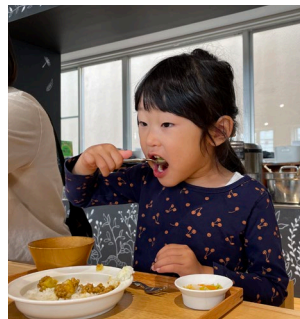
0~1 歳児クラスの子どもたちは、何でも食べられていた時期や葉物野菜には一切手をつけない時期、お茶や汁物は全部トレーの上にひっくり返す時期、本当に色々な事がありましたが、だんだんと「全部食べることが出来たらお代わりができる」を理解して「食べてみる」という行動が多くなり、「お代わりをしたいから苦手なお野菜を口に入れてみる」そんな頑張りをこの 1 年間、たくさん見せてくれました。

また、手づかみ食べだった 0 歳児さんが今ではスプーンを上手に使っていたり、1 歳児さんはプラスチックのコップからグラスになって、更にフォークを使ってみたり、顔を前に出して洋服を汚さずに食べる挑戦をしてみたり、日々成長をし続けています。

その一方で 2~5 歳児クラスの子どもたちは気持ちに波があり、苦手な食材が出てくると食事中に涙する子もいましたが、全体的に食べる量が増え、お昼の時間「ご飯おかわり！」と自ら大きな声を出して知らせてくれる子が増えたなと感じます。きのこやブロッコリーなど繰り返し給食に登場する食材は日に日に食べられる量が増えてきました。

来年度は更に子どもたちが主食、主菜、副菜、汁物をバランス良く食べる事ができるように調理法や食事中のコミュニケーションの取り方も試行錯誤していきたいなと思っています。

文 やっちゃん



KIDS SMILE LABO CLASS NEWS

3 March

- DAICHI
- OOZORA
- MINAMO
- NOBANA



お雛様に願いをのせて

保育室に飾られたひな壇をじっと見つめる子どもたち。ひなまつり会を楽しみに「うれしいひなまつり」も日々の保育の中で歌っていました。

お雛様は身近にあるトイレトペーパーの芯、コーヒーフィルターを使って製作しました。保育者が作ったお雛様を見せ、製作に使用した材料の話を初めにしました。お内裏様とお雛様が身に着けている、「冠」「笄(しゃく)」「さいし」「檜扇(ひおうぎ)」の名前を知ったりなど、ひな壇のお内裏様とお雛様を見ながら、自分たちで次から次へと糊を使って製作に夢中になる姿が印象的でした。また、コーヒーフィルターは着物になるのですが、水性ペンを使って描き、筆に水をつけてコーヒーフィルターを濡らし、滲んでいく様子を楽しみました。「ハートのかわいいのは、お雛様の(着物)！」と言ったり、顔を描く場面でも「お内裏様、描けた！お雛様もいないと寂しいね」友だちとの会話も弾んでいました。一人ひとり個性のある着物が完成し、素敵なひな人形となりました。

散歩の行き帰りに、雛あられや菱餅の色の意味やちらし寿司の食材の意味を知った子どもたちとひなまつりクイズを楽しんだり、「うれしいひなまつり」をみんなで歌ったり。

ひなまつり当日には、散歩出発前に自分のお雛様に病気や怪我がありませんように！とからだに優しくこすり、人形に思いをのせ、河原で「流し雛」をしました。船に乗ったお雛様をみて、「あれは私のかな？」「あれは〇〇くんだね」と見守る姿がありました。

お雛様の製作をはじめ、歌やクイズ、流し雛とひなまつりの行事を子どもたちと親しむことができました。※本来ひな人形は川に流して見送るものですが、LABOでは環境に配慮し回収しています。

文 さつとん

ロマンスカーミュージアムへ行こう！

日々LABOの窓から見えるロマンスカーに目を輝かせる子どもたちとロマンスカーミュージアムへ行ってきました！行く前の数日は電車の手遊びをしたり、いつもよりもロマンスカーに反応していて楽しみにしていることが伝わってきました。

いざ当日！本厚木駅から海老名までの電車も「5000系だ〜！」と電車をチェックして移動し、ロマンスカーミュージアムへ！中に入ると子どもたちに大人気のVSEという車両の大きな写真が！期待を胸に中へ進みます。ロマンスカーの前で記念撮影をして2つの班に分かれて行動しました。新宿〜箱根湯本まで続く圧巻のジオラマコーナーでは細かな細工にも目を向け「ここにクラゲがいるよ！」「本当だ！」と会話をしたり、「ここは海老名だよ？」「あのロマンスカーは何？」と次々に質問してみたりとじっくり展示を堪能しました。実際に活躍していた車両が展示してあるコーナーでは、先頭まで行き座席に座ってみたり、車掌室を見学したりと隅々まで楽しむ姿がありましたよ。

最後はお土産コーナーで小田急の図鑑を購入し、待ちに待ったお弁当の時間！海老名駅前の広場で親御さんの握ってくれた愛情たっぷりのおにぎりを食べました。「これ好きなやつ〜！」「見てみて！唐揚げだったよ！」とこちらも楽しい時間となりました。

LABOから見るだけではなく、実際に行き、電車について知るという経験が子どもたちの心をより豊かにしてくれた遠足になりました。

文 みーちゃん



4月の行事予定

3(月) 進級式

20(木) 身体測定

26(水) 避難訓練

28(金) こどもの日会

● DAICHI ● OOOZORA ● MINAMO



出汁三昧ワンタンスープ

今回の調理は「ワンタンスープ作り」。裏テーマは「出汁を知る」でした。日本の素晴らしい出汁の文化をぜひ子どもたちにも知ってもらいたく、出汁にスポットを当てました。クイズで驚きながら知ったことや、匂いや味見で感じたことが、これからの生活のどこかでふと思い出してもらえたら嬉しいです。そしてワンタン110個は保育者の想像を超えるスピードで包まれていきました。歳下の子達に自分たちのスープを紹介する姿は誇らしげであり、技術の面でも、気持ちの面でも成長を感じた最後の調理実習でした。

文 ちなちゃん

走った！笑った！仲間との時間

今年度、最後の遠足に七沢森林公園へ行きました。到着後は一気に公園の奥まで坂道を進みましたが、そのスピードには驚きました。1年前、歩いては止まるを繰り返していたことを懐かしんでしまうくらい、皆の成長を大きく感じました。

広場では鬼ごっこや、ごっこ遊びが展開され、へとへとになるまで遊び尽くしました。おもちゃも何も無いわけですが、長時間にわたって賑やかに遊びが続いていくというのは、子どもたちのイメージ力と、何をしても一緒にいるのが楽しいと思える仲間がいるからなのでしょう。子どもたちの笑い声を嬉しく聞きながらそんなことを思いました。みんなで登った大山も優しく見守ってくれているようでした。

4月からは新たな生活が始まりますが、どこにいても、ずっとずっとこの絆は続いていくと思っています。

文 ちなちゃん



KIDS SMILE LABO CLASS NEWS | 3

● NOBANA

はじめての図書館

のばなクラス7名で厚木市立中央図書館に行きました。みんなで行くのは初めてということもあり、「走らないで、ゆっくり歩く」「大きい声を出さず、蟻さんみたいに小さな声で話す」など、図書館でのお約束を伝えて行きました。図書館に着いた時に、もう1度お約束を聞くように覚えていて、楽しみと共に真剣な表情が見られました。また、たくさんの絵本や紙芝居をみて、目をキラキラと輝かせていました。保育園で借りていたものを「ありがとうございます」と返却した後の自由時間には恐竜の本、乗り物の本、プリンセスの本など、子どもたちは自分で好きなものを探していました。それぞれが好きな絵本を手に取り、椅子に座ってページをめくり、じっくりと落ち着いてみる姿が印象的でした。自分の好きな本が見つからない時には、図書館の人に「〇〇の本ありますか？」と勇気を持って聞いたり最後には借りたい絵本を決め、図書館のお姉さんに「貸してください」と伝えられたり、7人まとまって集合写真を撮ることができたりと成長を感じる1日となりました。

保育園でも借りてきた絵本を手に取り、友だちと一緒にみたり、一人でじっくりみたり、保育者に読んでもらったり、絵本に親しんでいました。また、図書館に行き、子どもたち自身の興味・関心を広げていくことができたと思っています。

※館内写真撮影禁止の為、保育園で絵本に親しんでいる写真を掲載しています。

文 さっとん



SOYOKAZE

おいしい！たのしい！ピクニック！

3月上旬、いつも遊んでいる相模川の河川敷〈木陰広場〉でピクニックを行いました。

思いきり外遊びを楽しんだあと、シートを広げて座っていると、お弁当を持ったゆうゆうが登場！お弁当が届くのを心待ちにしていた子ども達はすぐさま周りを囲み、どれどれとばかりに覗き込んでいました。そして子どもたちの好きなおかずが詰められたお弁当を見て、目をキラキラとさせていました！

子どもたちの一番人気はゆかりおにぎり、続いて、ささみスティックのオープン焼きでした。口いっぱい頬張り、「おいしいね！」と友だちや大人と顔を見合わせ笑顔をみせたり、いつもは残してしまう野菜に挑戦したり、デザートはいつもより大きなバナナを食べたりとお部屋で食べる時よりも夢中で食べ続ける姿が見られました。

『外でみんなでお弁当を食べたこと』が子どもたちの心に色濃く残っているようで、今でも思い出すと口にする姿がみられていますよ。

今年は桜の季節にあいにくの雨がっていますが、少しずつ気温も上がり過ごしやすくなっています。ぜひお休みの日にピクニックやお弁当を持って出かけを楽しんでくださいね♪ 文 あづあづ



絵本から見える子どもたちの成長

お散歩の出発前に絵本や紙芝居を読むのが定番となっているそよげクラス。保育者が絵本を読むためのマットを準備し始めると「絵本だー！」と遊ぶ手を止め急いでマットの元に集まり「今日は何のお話しだろう？」といつも目をキラキラさせて待っています。

絵本の読み聞かせを始めた当初は話が短く、内容も分かりやすい物が多かったのですが、毎日様々な作品を読んでいくうちにだんだんと子ども達の興味も広がり、あれも！これも！と話の長い、内容もストーリー性のある複雑な物が増えてきました。長いお話しも最後まで座って見ている子ども達の集中力にはいつもビックリさせられます！これからも沢山の絵本を読んで子ども達の興味や意欲的な活動に繋げていければと思います。 文 あやや



KOMOREBI

あかちゃんから一步先へ



0歳児こもれびクラスとして一年間を過ごしてきた子どもたち。入園したての頃はまだ乳児期の「あかちゃん」だったところから今ではもう幼児期に入り、それぞれの色をより一層光らせながら日々を過ごしていますね。個性豊かな6人が織りなすラボでの日々は毎日が新鮮です。

この一年の間にできることも随分と増えたことと思います。自分で～という姿も、嫌だ～という姿も出てきましたね。お家での姿、園での姿、周りの友達や大人に向ける視線や感情も多様になってきました。

休み明けに会ったら歩けるようになっていたり、言葉が増えて今の時期ならではの会話を楽しめる機会が増えたりと、子どもたちの成長していくスピードに驚かされることも少なくはありません。それほど、日々の中で様々なことを吸収していつているのだから子どもという存在は本当にすごいものです。

4月からは1歳児そよげクラスとなります。心も身体もぐっと大きくなる一年。これからまた新しい姿を見せてくれるであろうこの子たちの一日一日の姿を共に喜び面白がり、時に悩んだりしながら目の前にいる大切な一人ひとりにたくさんの愛情を注いでいきましょうね。

文 もりもり

KIDS SMILE LABO

第2回卒園式『夢を叶える卒園式』



今年の卒園児の夢は二つ。一つはラボの先生になること、もう一つは大好きなカフェペローチェの店員さん。夢は、大事な気持ちがぎゅっと詰まったパワーの塊だなと思います。その気持ちを大事にしてほしい、カタチにすることにワクワクしてほしい、そんな願いを込めて第2回目の卒園式は夢を叶える卒園式にしました。

店員さんになる夢をカタチにするにあたっては、お店へ見学に行ったり、エプロンを縫ったり、商品を作ったり、日々少しずつ少しずつ進めていきました。「楽しい」と、どの時間も笑顔で取り組む姿はとてもキラキラしており、やりたいことに真っ直ぐ進むこと、そして楽しむことがどんなに素敵なことかを教えてくれるようでした。

卒園式当日は、在園児の子や保護者の皆さんにもお客さんになっていただき、お店にお買い物に来ていただきました。生き生きとレジ台に立つ卒園児の姿、そして卒園児の制作したお店を皆が楽しんでいる様子は、夢の叶った世界を見ているようでグッと込み上げるものがありました。

ラボの先生になるという夢は、日々の生活の中で「先生の日」を数日作り叶えていきました。「先生の日」と名前がつかなくても、普段から年下の子たちへの愛情が溢れていた彼女。その気持ちは日頃から皆にたくさん届いており、卒園式当日には、子どもたちからたくさんの「だいすき」や「ありがとう」が送られていました。

夢をカタチにしていくことの輝きや、愛情溢れる世界を私たちの胸に残してくれた卒園生。4月から新しい生活が始まりますが、一緒にいた時間を胸に、それぞれの場所でずっと輝いていくことと信じています。

文 ちなちゃん



厚木にある〈約束の花束〉さんをお願いしました。テーマは『レトロなカフェ』お花屋さんが併設したカフェで、個性豊かな花瓶やおもしろい花瓶を用意し、おもちゃ箱をひっくり返したワクワクするような装飾になっています。

約束の花束
yakusoku-no-hanataba.com
神奈川県厚木市中町 3-8-6 ヴァントゥール本厚木 1 階



▶ウェルカムボード
卒園児の可愛らしさと、「ペローチェ」の少しレトロな雰囲気を掛け合わせてスタンドグラス風にゆうゆが作成しました。カフェのロゴは、卒園児の横顔シルエットを切り絵にしています。

▶卒園証書
卒園証書は、卒園児と過ごした日々を思い返し、担任の想いをもりもりがボエムとメッセージにしました。証書のデザインはあづあづが行いました。



2343FOOD LABO で卒園スペシャルランチ

「いってきまーす」そう言って仲間たちに手を振って向かった 2343FOOD LABO でのスペシャルランチ。楽しい気持ちと緊張が入り混じる中、本格的な接客と色鮮やかで想いの込められたプロの料理の数々に静かに心躍らせ、料理とその時間を味わっていることが表情からも感じられました。途中からは仲間たちも様子を見にきてくれ、会話を楽しみ卒園に向けた時間を分かち合っているようにも感じました。デザートは大好きなイチゴがたくさん入ったパフェを美味しくそうに頬張り、特別で幸せな時間を心ゆくまで堪能したのでした。

文 もりもり

